

小中一貫教育

制度化された学校		従来の小中学校
義務教育学校	小中一貫型小中学校 (併設型・連携型)	運営上の小中一貫教育
校長 1 人・副校長 1 人	各校に校長 1 人	各校に校長 1 人
三条市 大崎学園	十日町市 まつのやま学園 湯沢町 湯沢学園 三条市立学校	新潟市
市町村の条例による	市町村教委の規則による	なし
◆ 小・中学校が目指す子ども像を共有する。 ◆ 9 年間を通じた教育課程の編成し、系統性・体系性に配慮する。		
4 - 3 - 2 制、6 - 3 制		6 - 3 制

小中一貫教育

義務教育学校	小中一貫型小中学校	運営上の小中一貫教育
施設一体型（大崎学園）	施設一体型 （まつのやま学園 湯沢学園） 施設隣接 施設分離型 （三条市立学校）	施設分離型

<小中一貫教育を実施する理由>

◆教育内容・学習活動への対応

教育内容の量・質の充実 専門的な指導のための小中の連携 きめ細やかな指導

◆子どもたちの発達の早期化への対応

子どもたちの成長の段差への適切な対応

◆中1ギャップへの対応

小学校から中学校への新しい環境に移行する段階で、学習や生活環境が大きく変化するため、不登校等の問題が増加

小中一貫教育

義務教育学校	小中一貫型小中学校	運営上の小中一貫教育
施設一体型（大崎学園）	施設一体型（まつのやま学園 湯沢学園） 施設隣接 施設分離型（三条市立学校）	施設隣接 施設分離型

小中一貫教育の成果

学習面

子ども 学習意欲の向上 学力の向上 学習規律の定着
教員 教職員の意欲の向上 協力して指導に当たる意識の向上 系統性の理解の深まり

生活面

子ども 中1ギャップの緩和・解消 いじめ・不登校・暴力行為の減少 生活規律の改善
異学年交流による精神的な発達
教員 9年間の継続な指導・情報共有・連携指導

小中一貫教育 共通の課題

- ・小・中の打合せ時間の確保（会議・研修） 業務量の増大（合同行事の運営等）
- ・教員の所有免許の関係で兼務発令を拡大できない。
- ・一貫教育においても小・中学校の教職員定数は従来と変わらない。

小中一貫教育

義務教育学校	小中一貫型小中学校	運営上の小中一貫教育
施設一体型（大崎学園）	施設一体型（まつのやま学園 湯沢学園） 施設隣接 施設分離型（三条市立学校）	施設隣接 施設分離型

小中一貫教育 一体型学校における課題

- 小学生 低学年の子どもの萎縮
小学校卒業の達成感がない
リーダーシップ・自主性を養う機会の減少（５・６年生）
- 中学生 中学校の新鮮さがない
高校に進学してからの不適應等の問題
- 小・中 人間関係の固定化
中学生の小学生への生徒指導上の影響

「つくば市の小中一貫教育の成果と課題 調査報告書」より

（2018年7月 つくば市教育評価懇談会）

- ・小中一貫教育の効果は小中分離校でも発揮されている
- ・施設一体校では中一ギャップは解消しているが、新たに小６問題が顕在化している
- ・同じ小中一貫教育でも、小学校と中学校が分離していた方が教育効果が高い